令和2年度　在宅医療・介護連携推進事業　取組み状況（概要）受託法人

参考資料４

受託法人　ウエ			北	都島	福島	此花	中央	西	港	大正	天王寺	浪速	西淀川	淀川	東淀川	東成	生野	旭	城東	鶴見	阿倍野	住之江	住吉	東住吉	平野	西成	集約
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進の取組状況について	（ウ）に関連する取組の実施状況について、該当する選択肢番号を入力してください。 1. 実施している 2.実施に向けて準備・調整中（R2年度下半期以降に実施予定） 3. 現時点では未着手（実施に向けた具体的な準備・調整にいたっていない。）	1. 区民が必要とする切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制のニーズ、あり方の検討	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 23区　2.1区 3.0区　4. 0区
		2. 主治医・副主治医制の導入・推進に向けた取組	1	1	3	1	2	3	3	1	3	1	1	3	3	1	2	3	1	1	3	1	1	3	3	3	1. 11区　2.2区 3.11区　4. 0区
		3. 在宅療養中の利用者の急変時診療医療機関や後方病床の確保に向けた取組	1	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	2	1	1	3	3	1	2	1	1	1	1	3	3	1. 15区　2.5区 3.4区　4. 0区
		4. 訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護St.との連携体制構築への取組	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	2	3	1. 19区　2.3区 3.2区　4. 0区
		5. その他（ウ）に該当すると思われる取組 （具体的に記載）	新型コロナウイルス感染症関連の情報提供（ホームページ等）地域包括支援センターの研修会協力（講師紹介など）	退院支援カンファレンスに参加することで、退院後の生活課題を抽出し、ケアプランへの医療ニーズの位置づけの支援を病棟看護師、MSWと協働している。	MCS、その他のSNSなどのICTの活用の試み	病診連携は近隣区を中心に行っている。（区内に病院が少ない）	新型コロナ関連も含め病診・施設と在宅の連携が推進されるよう多職種連携研修をオンラインで開催	研修会の開催情報を毎月「ハーモニー」という情報紙にまとめて毎月各団体に配布。（20号まで発刊）		集まれる人で情報交換会		Aケアカードシステム・ブルーカードシステムによりできている。	西淀川区民生委員と医療機関の連携の仕組み作成		居宅介護支援事業者連絡会と医師会との連携体制の構築に向けた取組（歯科医師・薬剤師・訪問看護師含む）・病院と在宅との連携体制の構築に向けた取組（コロナ禍における各々の現状と取組研修会）・訪問介護事業者連絡会との連携体制の構築に向けた取組		災害発生時の医療機関と訪問看護STと行政の連携体制について進めていく予定	MCS上に旭区病院MSW連絡会を設置。入退医調整などに利用できるように考えている	①ケアマネジャーに対してCOVID-19感染拡大下の連携への不安や問題把握についてアンケートを実施。②訪問看護、薬剤師薬局、ヘルパー事業所、施設介護事業所には適宜電話にて聴取りを実施。③各職種にオンラインでの連携を勧奨。			医療介護連携用ICT（MCS）の導入・推進	病院と在宅医介関係者によるどらやきの会にて様々な課題の検討と情報共有を行う			他区コーディネーターとの情報交換	
（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援の取組状況について	（エ）に関連する取組の実施状況 1. 実施している 2.実施に向けて準備・調整中（R2年度下半期以降に実施予定） 3. 現時点では未着手（実施に向けた具体的な準備・調整にいたっていない。）	1. 医療・介護関係者間で共有すべき情報や情報共有のニーズ、共有方法の検討	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	3	1	1. 21区　2.2区 3.1区　4. 0区
		2. 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1. 21区　2.3区 3.0区　4. 0区
		3. 地域で充実又は作成するべき情報共有ツールの検討	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	3	1	2	1	1	1	2	1	1. 17区　2.5区 3.2区　4. 0区
		4. 情報共有ツールの導入や利用促進	1	2	1	1	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	3	1	3	1	2	1	1	1	3	1	1. 17区　2.3区 3.4区　4. 0区
		5. 4で導入した情報共有ツールの活用状況や効果についての評価や改善	3	3	2	2	2	1	2	1	3	1	1	2	2	1	3	1	3	2	2	1	1	1	3	3	1. 9区　2.8区 3.7区　4. 0区
		6. その他（エ）に該当すると思われる取組 （下欄に具体的に記載）	①ケアマネジャーに対してCOVID-19感染拡大下の連携への不安や問題把握についてアンケートを実施。②訪問看護、薬剤師薬局、ヘルパー事業所、施設介護事業所には適宜電話にて聴取りを実施。③各職種にオンラインでの連携を勧奨。			「此花区相談機関連携シート」「此花区相談機関窓口一覧」の作成と配布啓発	中央区内の医療介護の社会資源の全体像・つながり図シート作成・共有。校区ごとの地域診断ワーキングの毎月開催し現状分析の共有	ホームページを開設し、WEBでの情報提供もできるように取り組んでいる	医療介護用SNSを使用した多職種連携の取り組みを実施中	病院窓口一覧　情報掲載		Aケアカードシステム			コーディネーター通信の発行・医療介護連携ハンドブックの更新、医療連携ハンドブックの更新、かかりつけマップの更新等を医療・介護関係者へ配布。		情報共有ツールの収集のみで止まっている状態		①ケアマネジャーに対してCOVID-19感染拡大下の連携への不安や問題把握についてアンケートを実施。②訪問看護、薬剤師薬局、ヘルパー事業所、施設介護事業所には適宜電話にて聴取りを実施。③各職種にオンラインでの連携を勧奨。		ワーキングで検討。	資源リスト、MCSの導入、活用	訪問看護、訪問介護事業所に業務状況や関係機関との連携についてのアンケート調査を行った				